

総 合 実 習 / 3 学 年

1. 実習目的

病院組織のなかの看護管理について学び、保健医療福祉における看護の機能と役割を理解し、チームの一員としての自覚と責任を持ち実践できる能力を養う。また、これまでの経験を統合し自己の看護観を明確にする。

2. 実習目標

- 1) 看護管理について学び、既習の知識・技術・能力を統合し、看護実践能力を高める。
- 2) 保健医療福祉の連携について学び、チームにおける看護の機能と役割を理解する。
- 3) 看護に対する考え（看護観）と、看護実践における自己の課題について明確にする。

3. 実習内容

一 般 目 標	行 動 目 標	実 習 内 容
1. 病院における看護組織を理解できる。 (実習目標 1)	1) 組織のあり方を理解し、組織の一員であることを自覚できる。	(1)病院組織の中での看護 ・病院組織における看護部門の位置づけ ・看護管理業務 (人事、業務、物品、安全管理等)
2. 一看護単位における看護体制を理解できる。 (実習目標 1、2)	1) 看護体制を理解し、メンバーの役割行動に活かすことができる。	(1)看護方式の種類とその内容 ・機能、業務別看護方式 ・受持制看護方式 ・混合型看護方式 ・チームナーシングシステム (2)勤務体制（形態）の種類とその内容 ・2交代・3交代制等 ・夜勤での観察（学内実習）
3. 看護チームのメンバーの役割と責任について理解できる。 (実習目標 1、2、3)	1) チームメンバーであることを自覚し、責任ある行動をとれる。	(1)看護の実践 ・申し送りを受け、患者を把握する ・業務の優先度の判断 ・看護計画の立案・展開 ・看護の実践と報告、記録 ・情報提供・入退院の看護 ・他部門との関連業務 ・継続看護の必要性 ・リーダーとの連携 ・カンファレンスへの参加 ・医療安全 ・看護師長業務の説明を受ける ・チームリーダー、看護補助者業務の体験 ・実習指導者の役割

一般目標	行動目標	実習内容
3. 看護チームのメンバーの役割と責任について理解できる。 (実習目標 1、2、3)	2) 複数の患者を受け持ち、援助の優先順位を考えた行動ができる。	(1)看護上の問題点の把握 ・患者のスケジュールや業務の調整 ・行動計画の立案、修正 ・優先度の決定、状況判断の評価

4. 実習時間 (単位)

総時間 90 時間 (2 単位)

1) 臨地実習 73 時間

2) 学内実習 17 時間 (0.38 単位)

目的：臨地での学びを深める。また、夜勤を想定した観察の実際を学内（実習室）で行う。

内容：①学内でミーティングを行い情報共有する。臨地での学びをノートに記載し指導のもと振り返る。

②5 日目と 6 日目に、夜勤を想定した観察の実際を学内で行う。

実習期間および時間

	8:30~9:15	9:15~10:00	10:00~10:45	10:45~11:30	11:30~12:15	13:15~14:00	14:00~14:45	14:45~15:30	15:30~16:15	16:15~17:00
1 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
2 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
3 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
4 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
5 日目			臨地実習			学内実習	夜勤での観察の実際 (学内実習)			
6 日目			臨地実習			学内実習	夜勤での観察の実際 (学内実習)			
7 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
8 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
9 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習

5. 実習方法

1) 実習予定表を事前に病棟で記載してもらい、学生は予定表に基づいて行動計画を立案し、実習する。

2) 週別実習内容

1~3 日目 — チームメンバーとして実習

4~9 日目 — チームメンバーとして実習

コーディネーター・チームリーダーとしての実習 (1~2 日)

看護師長業務 (半日~1 日)

看護補助者業務の体験 (1 日)

3) レポート

テーマは「看護に対する私の考え」とし、レポート用紙 (A 4 版) 3 枚程度にまとめ、実習終了後 3 日目 (土、日、祝日は含まない) に実習記録と共に担当教員に提出する。内容はこれまで学んできた経験を振り返り、看護に対する自分の考え、それを実践するための自己の課題と今後の取り組みについて記載すること。

6. 実習記録

1) 実習の記録の様式を参考に作成する。

2) 受け持ち患者の SOAP 記録を、病棟の看護計画に沿って学生看護記録に記載する。

7. 実習評価

総合実習評価表を用いて、実習終了後 2 週間以内に臨床指導者と担当教員で評価を行う。

総合実習 評価表

第 期生 学籍番号

学生氏名

実習場所

実習期間 年 月 日 ~ 年 月 日

Ver.2025.10

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
チームメンバー・チームリーダーの役割	実践	複数患者に対して、看護計画に基づきその場の患者のニーズを捉え、個性をもって必要な看護を安全・安楽に実践できる	複数患者に対して、看護計画に基づいてはいいがその場で患者のニーズを捉え、個性をもって必要な看護を安全・安楽に実践できる	複数患者に対して、個性や安全・安楽の視点が不十分で助言を要する	複数患者に対して、必要な援助は考えているが個性や安全・安楽な実践が助言を受けてもできない	1
		複数患者と病棟の状況を踏まえて、根拠を明確にし適切な優先順位を考え行動できる	助言を受けて根拠を明確にし、適切な優先順位を考え行動できる	根拠は不十分であるが、助言を受けて適切な優先順位を考え行動できる	かなりの助言を受けても援助の根拠を明確にできず、適切な優先順位を考え行動できない	1
		患者に合わせて、看護技術を実践している <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 安楽 <input type="checkbox"/> 個性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術について実践する上で不十分な項目が1項目ある	患者に合わせて、看護技術について実践する上で不十分な項目が2~3項目ある	患者に合わせて、看護技術について実践する上で不十分な項目が4項目以上ある	1
		患者に応じた診療及び検査・処置の介助を、主体的に実践できる 実践の機会がない場合、主体的に考察し学びを実習ノートに記載できる	対象に応じた診療及び検査・処置の介助を、手助けや声かけを受け実践できる 実践の機会がない場合、助言を受けて考察し学びを実習ノートに記載できる	対象に応じた診療及び検査・処置の介助を、手助けや声かけを多く受け実践できる 実践の機会がない場合、助言を多く受けることで学びを実習ノートに記載できる	対象に応じた診療及び検査・処置の介助を、手助けや声かけを多く受けても実践できない 実践の機会がない場合、助言を多く受けても学びを実習ノートに記載できていない	0
		患者に合わせて説明・指導を、主体的に実践できる 実践の機会がない場合、主体的に考察し学びを実習ノートに記載できる	患者に合わせて説明・指導を、手助けや声かけを受け実践できる 実践の機会がない場合、助言を受けて考察し学びを実習ノートに記載できる	患者に合わせて説明・指導を、手助けや声かけを多く受け実践できる 実践の機会がない場合、助言を多く受けることで学びを実習ノートに記載できる	患者に合わせて説明・指導を、手助けや声かけを多く受けても実践できない 実践の機会がない場合、助言を多く受けても学びを実習ノートに記載できていない	0
		タイムマネジメントを意識して看護実践ができる	助言を受けてタイムマネジメントを意識して看護実践ができる		助言を受けても、タイムマネジメントを意識して看護実践できない	1
		チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し行動できる	助言を受けてチームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し行動できる	助言を受けてメンバーシップやリーダーシップを理解しているが、チームを意識した行動ができない	助言を受けてもメンバーシップやリーダーシップについて理解することが出来ない	0
		患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる	助言を受けて患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる	助言を受けて患者の観察をし記録しているが、患者に合った記録をするのに時間がかかる	助言を受け時間をかけても、患者に合った記録をできない	1
		チームカンファレンスや病棟でのミーティングについて、主体的に情報提供・意見交換ができる。実践の機会がない場合、主体的に考察し学びを実習ノートに記載できる	チームカンファレンスや病棟でのミーティングについて、助言や手助けを受けながら情報提供・意見交換ができる 実践の機会がない場合、考察がやや浅いが学びを実習ノートに記載できる	チームカンファレンスや病棟でのミーティングについて、消極的であるが助言や手助けを受けながら情報提供・意見交換ができる実践の機会がない場合、考察が浅いが学びを実習ノートに記載できる	チームカンファレンスや病棟でのミーティングについて、助言や手助けを受けても情報提供・意見交換ができない。実践の機会がない場合、実習ノートにもほとんど記載できていない	0
		事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる	助言を受けて事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる	助言を受けて事例をもとに観察項目を検討できるが、夜間であることに配慮した観察・報告ができない	助言を受けても事例をもとに観察項目を検討できず、夜間であることに配慮した観察・報告ができない	0
看護管理	実習ノート	病院組織の中の看護職の役割と、看護管理の視点について述べられる <input type="checkbox"/> 人的資源 <input type="checkbox"/> 物理的資源 <input type="checkbox"/> 薬品管理 <input type="checkbox"/> 情報管理 <input type="checkbox"/> 看護目標 <input type="checkbox"/> 勤務体制・看護方式 <input type="checkbox"/> 時間管理	看護管理について不十分な項目が1項目ある	看護管理について不十分な項目が2~3項目ある	看護管理について不十分な項目が4項目以上ある	0
		経験したこと全てについて自己の考えを交えて、評価考察できる <input type="checkbox"/> 医療安全 <input type="checkbox"/> 看護管理 <input type="checkbox"/> メンバーシップ <input type="checkbox"/> リーダーシップ <input type="checkbox"/> 看護ケア <input type="checkbox"/> 看護補助者業務	経験したことについて評価考察が不十分な項目が1項目ある	経験したことについて評価考察が不十分な項目が2~3項目ある	経験したことについて評価考察が不十分な項目が4項目以上ある	0
		保健医療福祉の連携について考察し、その中での看護の役割について述べることができる	看護にはつなげられていないが、保健医療福祉の連携について述べることができる	かなりの助言を受けて保健医療福祉の中での看護の役割について概ね述べることができる	保健医療福祉の連携について述べることができず、入院中の事だけの考察になっている	1
		病院組織における他部門の役割を知り、連絡調整のあり方が理解できる	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方を理解し助言を受けて述べることができる	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方を理解しているが助言を受けても記述できない	他部門の役割について記述することが出来ない	0
		退院支援チームにおける以下の項目について述べることができる <input type="checkbox"/> 看護の役割 <input type="checkbox"/> 継続性 <input type="checkbox"/> 多職種連携	退院支援チームにおける項目について不十分な項目が1項目ある	退院支援チームにおける項目について不十分な項目が2項目ある	退院支援チームにおける項目全てにおいて不十分である	0
レポート	知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができる 論旨に一貫性がある 誤字が少なく、期限までに提出できる	知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することが概ねできる 概ね論旨は一貫している 誤字が少なく、期限までに提出できる		自らの看護場面がなく、知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができていない 論旨が一貫していない 期限を過ぎても提出できない	0	
態度	行動	看護師や教員へ報告・連絡・相談を、以下の項目に沿って実践できる <input type="checkbox"/> 必要な内容を簡潔に伝えることができる <input type="checkbox"/> 援助や治療の前後や患者の状況に応じた適切なタイミングで実施できる <input type="checkbox"/> 自己の所在	報告・連絡・相談において不十分な項目が1項目ある	報告・連絡・相談において不十分な項目が2項目ある	報告・連絡・相談が不十分な項目が3項目以上ある	1
		実習に必要な学習・練習に取り組み、十分に準備を整えて臨んでいる わからないところはすぐに調べたり質問し、早期に解決しようとしている (アドバイスの赤ペンに対し、調べて返答している)	実習に必要な学習・練習に取り組み、準備を整えて臨んでいる わからないところを調べたり質問し、解決しようとしている	実習に必要な学習・練習の取り組みがやや不足している わからないところを調べたり質問し、解決しようとしている時間がかかる	実習に必要な学習・練習の取り組みが不足している わからないところを調べたり質問し、解決しようとする取り組みが出来ていないことが多い	0
		自らの体調を整えて実習に臨み、全日出席している 体調がすぐれない時は、自ら教員や病棟スタッフに申し出て、必要な対処をしている	自らの体調を整えて実習に臨んだが、遅刻・早退・欠席があった 体調がすぐれない時は、自ら教員や病棟スタッフに申し出て、必要な対処をしている		自らの体調を整えて実習に臨んだが、2日以上の遅刻・早退・欠席があった 体調がすぐれない時に必要な対処ができない	2
		学習者としての自覚を持ち、以下の項目全てにおいて取り組むことができる <input type="checkbox"/> 実習ノートの整理 <input type="checkbox"/> 課題や提出物の期限を守る <input type="checkbox"/> 常に身だしなみを整えている <input type="checkbox"/> 教員・病棟スタッフとのコミュニケーション(態度・言葉遣い・表情) <input type="checkbox"/> 学内実習 <input type="checkbox"/> 学内ミーティング		実習の取り組みにおいて、不十分な項目が1項目以上ある	以下の項目が該当する <input type="checkbox"/> ノートの整理、課題や提出物の期限を複数回守れない <input type="checkbox"/> 身だしなみが乱れており実習に適した状態に改善することができない <input type="checkbox"/> 実習時間中の居眠り、ミーティングでの消極的態度、実習グループ全体の活動への不参加などが複数回ある <input type="checkbox"/> 学習者として適切なコミュニケーション(姿勢・言葉遣い・表情)が取れないことが複数回ある <input type="checkbox"/> 個人情報の管理ができない <input type="checkbox"/> 当学院の倫理規定に反する行動がある	0

看護部長	看護師長	指導者	担当教員	合計
	出席すべき時間数	時間	出席時間数	時間
			欠席時間数	時間
				/100点